

水道施設の木質化でSDGsに貢献～水道と林業のパートナーシップ構築で持続可能な社会を～ (福島県南会津町)

取組概要

水道施設更新整備に身近で潤沢な資源木材を経営資源に転換し、経営持続・森林再生・脱炭素化に貢献する取組

人的及び財政的な制約があるなか持続可能な経営基盤構築には、新たな手法の実効性を判断し導入を図らなければならない。財政負担と人的資源の軽減を目的とし、同時に森林再生、脱炭素化に水道事業が貢献する波及効果を期待する。

取組の効果

- ①財政支出の平準化 ②耐食性 ③施工管理
- ④加工自由度 ⑤健全な水循環 ⑥脱炭素化

国産材有効活用に寄与でき、更新需要の増加傾向が続く中長期的対策として、国産材の積極的活用は更新費用の財政支出抑制に繋がると期待できる。

創意・工夫した点

「カネ」「ヒト」の資源が乏しい中で、身近で潤沢な森林を「モノ」に活用した。

施設特有の酸性環境下で、弱酸性素材の耐食性に期待し木材を採用した。

他団体へのアドバイス

今回紹介したNLTは「動く工場」も大きな特徴である。

角材を製造する製材所や工務店等の協力を得ることができれば製造機が移動し「現地工場」として稼働でき、地元産材の活用が図られる。

人口 13,735人(R6.1.1現在)
担当 環境水道課



旧建屋の外観と屋根部の破損状況



木質建屋（ポンプ室）の外観と内部